

令和 3 年度第 2 回おおさかスマートエネルギー協議会 議事概要

- 1 日時：令和 4 年 2 月 21 日（月）14 時 00 分から 16 時 00 分まで
- 2 場所：大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）41 階 共用会議室 10
- 3 出席者：

【府民団体等】

なにわの消費者団体連絡会

【エネルギー供給事業者】

関西電力（株）、大阪ガス（株）、オリックス（株）

【自治体】

大阪市、堺市、田尻町、大阪府

【オブザーバー】

経済産業省近畿経済産業局、環境省近畿地方環境事務所

【大阪府地球温暖化防止活動推進センター】

（一財）大阪府みどり公社

【ファシリテーター】

（有）ひのでやエコライフ研究所 代表取締役 鈴木 靖文

4 概要及び意見等

（1）今年度の協議会開催結果について

○概要

- ・大阪府より、資料 1 をもとに、今年度の全体会議及び各部門別会議の開催結果の概要について説明。

（2）国のエネルギー政策・地球温暖化対策の動向について

○概要

- ・経済産業省近畿経済産業局より、資料 2-1「カーボンニュートラルに向けた国の政策～経済と環境の好循環に向けて～」をもとに、グリーン成長戦略及びエネルギー基本計画の概要、これらの戦略・計画によって、2030 年 46%削減、2050 年カーボンニュートラルに向けて目指すべき到達点、方向性を明確化したクリーンエネルギー戦略の概要等について情報提供。
- ・環境省近畿地方環境事務所より、資料 3-2「脱炭素社会の実現に向けて」をもとに、2050 年カーボンニュートラルに向けた国内の動向、地球温暖化対策推進法改正の概要、国・地方脱炭

素実現会議において決定された地域脱炭素ロードマップの概要及びその支援パッケージ等について情報提供。

○主な意見等

・グリーンイノベーション基金プロジェクトの進捗状況について、水素のプロジェクトが他よりも早く動いているようだが、実際に基金を活用したいという事業者が多くいて早く進んでいるということか。

⇒水素については、グリーンイノベーション基金が開始される前から NEDO プロジェクトの中で国際サプライチェーンや、関西ではポートアイランドでの水素発電実証事業がこれまでに進められてきたこともあり、基金の活用に向けてプロジェクトの体制等が比較的早く組めたことが一つと考えている。

・クリーンエネルギー戦略のイメージ・位置付けは。

⇒「グリーン成長戦略」および「第 6 次エネルギー基本計画」で実行計画や一定の道筋を策定したが、二つの戦略・計画を実際に動かしていくには、日本全体の経済・社会システムの転換を図っていく必要があることから、産業・経済界の声なども聞きながら、具体的な内容を落とし込んだ戦略が必要ということで策定作業を開始したもの。今後は、企業へのヒアリング等を通じ、よりきめ細かな内容にすること、かつ国民生活にも影響が出てくるので、いろいろな要素を盛り込みながら作っていく状況。また、これまでは供給側の目線で基本計画等を定めてきた部分があるが、需要サイドの各分野の取組みも要素に取り入れて、新しい戦略を練っていくための議論を進めているところ。

・脱炭素先行地域の関西地域の反応（応募状況）と、どの類型が多かったのか。

⇒自治体や民間事業者からたくさん問い合わせがあった。自治体の中には、期間が限られていたこともあり、地元住民への合意形成が得られず今回の応募を見合わせたところもあったが、全国の中でも関西は多い方ではないかと思われる。

類型については、行政だけで取り組めることもあり「施設群」が多かったように思う。また、自治体の余っている土地を活用して住生活エリアを作っていくといった内容のものもあった。

（４）来年度の協議会のテーマ及び進め方等について（意見交換）

○概要

・大阪府より、資料 3-1 により 2022 年度アクションプログラム案について、資料 3-2 により来年度の協議会の進め方及びテーマについて説明。

○主な意見等

・今年度、現地見学会に参加したが、実際にみることで関心が高まったり、理解が深まったりする。また、一緒に頑張っ取り組もうと思う機会にもなるので、見学会を増やすこと、もっとたくさんの消

費者団体等も参加できるようにして欲しい。

- ・脱炭素化に向けた事業者支援として、これまで省エネ診断等に取り組んできたが、今後、さらなる支援にも取り組んでいきたいと考えているので、引き続き、一緒に進めていきたい。
- ・消費者や事業者の皆さんからのご意見・要望を伺いながら進めていきたい。
- ・消費者や事業者の皆さんからのリクエストがあると取組みやすい。また、脱炭素に向けた新たな取組みに対する認知を高める機会として、あるいは、いきなり脱炭素ということではなく、まずは低炭素の取組みを考える機会として、内容の検討をしていただきたい。今年度実施した市町村と事業者の意見交換・相談会は、有意義だった。次年度もそうした機会があれば良いと思う。
- ・燃料電池の自動車を導入など、新たな取組みを見ていただく機会をつくるなど、住民の方への普及啓発をしっかりとやっていきたい。
- ・先行的な取組みの情報共有はありがたい。ZEB セミナーは非常に勉強になった。引き続き、先行事例の情報共有を設定して欲しい。
- ・エネルギー供給は地域に欠かせない重要なパートナーなので、エネルギー面で豊かに社会をつくりながらどのようにゼロカーボンに向けて進めていくのか、エネルギー供給側と需要側である府民・事業者・自治体がぜひ一緒になって進めていただきたい。国の動きが非常に大きく変化する中で、情報をキャッチアップするだけでも大変だが、一緒に考えていくことが大事。2025 年大阪・関西万博を機にステップアップできるよう一緒に取り組んでいけたらよい。
- ・事業者・家庭部門会議のテーマについては、柔軟に検討していきたいとのことなので、引き続き意見などあれば大阪府に連絡してもらいたい。

(5) 関西エリアにおける電力需給状況について

○概要

- ・関西電力株式会社より、資料 4 により関西エリアにおける電力需給状況について情報提供。

○主な意見等

- ・LNG・ガス市況はこの数年で大きく上昇しているが、過去にも高い時期はあったのか。
⇒リーマンショック直後には、もっと高い時期があった。だから問題にならないという訳ではなく、また直ちに料金に反映されるという訳ではないが、今後も注視していく必要はある。
- ・LNG の高騰の電気料金への影響は。
⇒燃料調整費は LNG 価格高騰が直接的に影響があるが、電気料金自体は、電源として LNG 以外のものもあり全体としてになるので直ちに影響を受ける訳ではない。

以上